



にゅーすれたーふじやま・長泉



2012. 4

私もスマートフォン

パナソニックエイジフリー介護チェーン

2月中旬、ハノイに行ってきました。今回の目的は一昨年寄贈した車いすの状況を見るためと、別の高齢者施設の見学です。さらに私たち家族がホストしたニャンさんとの出会いも目当てで楽しみにしていました。彼女は私がハノイ行きを決めたときから、施設のアポイント取りをはじめ、さまざま手を尽くしてくれました。ところが携帯ではなくパソコンメールでやりとりをし、ハノイでのスケジュールが届いたのは私が家を出てからだったので見ることはできませんでした。ハノイで会ったニャンさんから「お母さんもスマートフォンにしてください」の一言と空港では外国人(おばさんも iPad)もほとんどスマートフォンだったので帰国して即スマートフォンに変えました。ついでに仕事でも必要だったのでタブレットも買いました。最初はタッチがなかなか思うようにいかず娘がタッチペンを買ってくれました。だんだん慣れて今ではタッチで困ることはほとんどありません。充電容量の少なさが気になりますが、でも楽しんで使っています。

さて、「車いす」をプレゼントした施設では今回も私を歓迎してくれました。もう一つ施設が増えていて現在は30名ほどの方が利用しています。次に訪問した場所はベトナムでも一番大きな施設(100名ほど収容)とのことでした。50歳という若い施設長に会いました。お茶やお菓子、フルーツなどをだしてくださっての大歓迎を受け感激でした。彼はEPA(経済連携協定)の日本での看護師や介護福祉士受験について日本の代議士や施設関係者と政府に対し働き掛けをしているとおっしゃっていました。施設長は笑顔を絶やさず実に気持ち良く施設内を案内してくださったので、不安もなく見学させていただきました。日本人の利用者が1名いらっしゃいました。彼は奥さんを亡くされたとのことです。長い間海外で働いた末病気になる、日本に帰国できなくなって、この施設に入所されたそうです。私が持参した田子の月最中とお煎餅を差し上げると、「なつかしい、ありがたい」と喜んでくださいました。帰国後また贈呈用車いすの手配をはじめました。



施設の日本人利用者

車いすを贈った施設
女性施設長と

オーシャン・プリンセス
サンセットクルーズ

3月31日(土)17:30 70名ほどを乗せてオーシャン・プリンセス号が予定とおり清水港を離岸しました。朝から低気圧の影響で日本全体が嵐のような天候でしたが、富士から向かったバスが港に着くころは晴れて富士山も顔を見せてくれました。乗船と同時にシャンパンで乾杯! 美味しいお料理に舌つづみを打ちながらエリザベステーラーも乗ったという船の魅力と、三枝はるみさんのジャズに酔いしれ、サンセットクルーズを楽しみました。NPO法人楽しいことやら座おやじバンドスタッフの企画でした。 渡邊啓視

